主要講演等

10 月 21 日（金）

●第 1 会場

《開会の辞》 8：50 ～ 9：00

《会長講演》 9：00 ～ 10：25

『救急医療・看護の過去、現在、未来』

講師：松月みどり（第 13 回日本救急看護学会学術集会会長、公益社団法人日本看護協会）

司会：中村　美鈴（自治医科大学看護学部（成人看護学））

《特別講演》 14：10 ～ 15：10

『落語と講演』

講師：笑福亭たま（落語家）

司会：松月みどり（公益社団法人日本看護協会）

《パネルディスカッションⅡ》 16：00 ～ 18：00

『東日本大震災の支援の実際と（現場で感じた）課題』

座長：阿久津　功（財団法人温知会会津中央病院看護部）

石井美恵子（公益社団法人日本看護協会）

パネリスト：　届け！藤田保健衛生大学病院から東日本への思い

眞野　恵子（藤田保健衛生大学病院）

東日本大震災時、被災地ではない病院で何が起こっていたのか？

－都内 A 災害拠点病院の調査結果からの分析－

木野　毅彦（日本医科大学付属病院看護部）

東日本大震災における DMAT の活動と課題

小井土雄一（国立病院機構災害医療センター臨床研究部）

超急性期から慢性期まで継続した医療の提供～大阪赤十字病院の体制と活動報告～

弘川　摩子（大阪赤十字病院国際救援部看護部）

日本看護協会災害支援ナースとしての災害支援活動と今後の課題

西村　聖子（JA 三重厚生連松阪中央総合病院）

●第 2 会場

《教育講演Ⅰ》 10：30 ～ 11：55

『認知症高齢者の世界を知る－救急看護に生かすために』

講師：阿保　順子（長野県看護大学）

司会：中村　惠子（札幌市立大学看護学部看護学科）

《パネルディスカッションⅠ》 14：10 ～ 16：10

『実践的トリアージシステムの定着に向けた政策的課題』

座長：渡邊　淑子（東京医科大学病院）

佐藤　憲明（日本医科大学付属病院高度救命救急センター）

パネリスト：　トリアージの質向上と普及について

渡邊　淑子（東京医科大学病院）

実践的トリアージシステムの定着に向けた政策的課題

―わが国におけるトリアージの歴史的背景とトリアージシステム構築の取り組み―

西塔依久美（武蔵野赤十字病院救命救急センター）

看護師による院内トリアージシステムの現状と今後の展望

内田　里実（筑波メディカルセンター病院）

救急外来トリアージにおける協働と地域連携を目指した取り組み

黒田　啓子（東海大学医学部付属病院高度救命救急センター）

特別コメンテーター：木澤　晃代（筑波メディカルセンター病院）

《教育講演Ⅱ》 16：30 ～ 18：00

『看護とデザイン』

講師：横井　郁子（東邦大学看護学部）

司会：牧野　恵子（社団法人大阪府看護協会）

●第 3 会場

《教育セミナー》 10：30 ～ 11：55

『侵襲と生体反応　ー呼吸・循環動態をどのようにアセスメントし、どのようにケアする？ー』

講師：大槻　勝明（土浦協同病院救命救急センター ICU）

《交流セッションⅠ（東海救急看護研究会主催）》 14：50 ～ 16：20

『救急医療現場における社会的・倫理的問題への対応能力向上に向けた方略

事例で考えよう学会交流第 2 弾』

代表：山口　弘子（東海救急看護研究会第 7 回事例検討会代表、名古屋大学医学部附属病院）

《ワークショップ》 16：30 ～ 18：00

『救急領域における急性・重症患者看護専門看護師が行う高度看護実践とは』

座長：井上　　潤（独立行政法人国立病院機構南和歌山医療センター）

平尾　明美（神戸市看護大学）

蘇生チームにおける活動報告

堀　友紀子（国立病院機構京都医療センター）

チーム医療の推進者としての急性・重症患者看護専門看護師の活動
病棟管理者と専門看護師を兼務している立場から
　　木澤　晃代（筑波メディカルセンター病院救命 ICU）
救急領域における急性・重症看護専門看護師が行う倫理調整の実際について
　　迫田　典子（昭和大学病院集中治療部）
ABCDE バンドルにおける看護師の自律性について
～鎮痛・鎮静・せん妄管理における課題から～
　　古賀　雄二（山口大学医学部附属病院集中治療部）

●第 4 会場

《教育講演Ⅲ》　16：30 ～ 18：00

『「攻めの医療」が患者を救う！～地域救命救急医療におけるドクターヘリの有効活用～』

講師：小林　誠人（公立豊岡病院但馬救命救急センター）
司会：中谷　茂子（医療法人マックシール巽病院）

10 月 22 日（土）

●第 1 会場

《パネルディスカッションⅢ》 9：00 ～ 11：00

『特定看護師（仮称）の役割からみる救急看護師の将来像』

座長：山勢　博彰（山口大学大学院医学系研究科保健学専攻）
　　冨岡小百合（大阪府立中河内救命救急センター）

基調講演・パネリスト：特定看護師（仮称）の検討状況
　　島田　陽子（厚生労働省医政局看護課看護サービス推進室）

パネリスト：　特定看護師（仮称）の制度化・法制化について
　　洪　　愛子（公益社団法人日本看護協会）
　　大学院修士課程ナースプラクティショナー（NP）養成課程を修了した特定看護師（仮称）業務実証事業の現状と課題　―新しい役割とチーム医療―
　　塩月　成則（医療法人小寺会佐伯中央病院）
　　特定看護師（仮称）の役割からみる救急看護師の将来像
　　中山　法子（財団法人田附興風会医学研究所北野病院）
　　特定看護師（仮称）に病院・看護部組織で期待する事
　　高橋久美子（日本医科大学武蔵小杉病院）
　　特定看護師（仮称）の役割からみる救急看護師の将来像
　　―診療放射線技師の業務の実態―
　　原口　信次（東海大学医学部付属病院診療技術部）

《交流セッションⅤ（編集委員会主催）》 11：00 ～ 12：00

『看護研究のテーマ絞り込みと研究計画書作成において陥りやすい問題とその対策』

講師：黒田　裕子（北里大学看護学部）

《シンポジウム》 13：30 ～ 15：30

『救急看護の未来を読む』

座長：山勢　善江（日本赤十字九州国際看護大学）
　　明石　惠子（名古屋市立大学）

シンポジスト：災害看護学の充実とスペシャリストの育成に向けて
　　臼井　千津（愛知医科大学看護学部）
　　特定看護師（仮称）の役割からみる救急看護師の将来像
　　浅香えみ子（獨協医科大学越谷病院）
　　救急看護の未来を担う私たちがすべきこと
　　森田　孝子（横浜創英大学設置準備室）
　　救急看護の未来を読む
　　木澤　晃代（筑波メディカルセンター病院救命 ICU）

救急看護の未来を読む－急性・重症患者看護専門看護師の立場から
田村富美子（聖路加国際病院救急救命センター）

《開会の辞》 15：30 ～ 15：40

●第 2 会場

《教育講演Ⅳ》 9：00 ～ 10：30

『「医食同源」～病は気から～』

講師：岩田　弘三（株式会社ロック・フィールド　代表取締役社長）
司会：藤原　正恵（宝塚大学看護学部）

《交流セッションⅣ》 10：40 ～ 11：40

『実践例から学ぶ臨床看護実践力を高める教育方法』

座長：剱持　　功（東海大学医学部付属病院）
話題提供者：　臨床看護実践力を高める教育方法
～救急看護クリニカルラダーと教育パスの活用～
西尾　治美（日本大学医学部附属板橋病院）
各地で行われている救急看護研究会や研修（仮称）への話題提供
救急医療現場における社会的・倫理的問題への対応能力向上に向けた事例検討会
明石　惠子（東海救急看護研究会代表、名古屋市立大学）
看護基礎教育における取り組み：模擬患者を活用した授業の実践例
渕本　雅昭（札幌市立大学看護学部看護学科模擬患者養成講座）
看護基礎教育における取り組み：看護実践能力を高める「育てる OSCE」実践例
菅原　美樹（札幌市立大学看護学部）

《メディカル・デザイン・アワード 2010 奨励賞・観客賞　受賞者講演》 13：10 ～ 13：40

『Drip Adjuster』

講師：田中　範佳（東海大学医学部付属病院看護部、
大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻博士後期課程）
司会：寺師　　榮（西南女学院大学認定看護師教育課程）

《フィジカルアセスメントセミナー「呼吸」》 13：50 ～ 14：50

『救急搬送された患者の呼吸のフィジカルアセスメント』

講師：中村　香代（国立国際医療研究センター病院）

《フィジカルアセスメントセミナー「循環」》 15：00 ～ 16：00

『救急搬送された患者の循環のフィジカルアセスメント』

講師：小笠原由佳（東海大学医学部付属八王子病院）

●第 3 会場

《交流セッションⅡ（倫理委員会主催）》 9：00 ～ 10：00

『ともに考えよう救急看護実践の倫理』

日本救急看護学会倫理委員会：

森田　孝子（横浜創英大学設置準備室）
臼井　千津（愛知医科大学）
瀬川　久江（元財団法人大阪看護協会）
高山裕喜枝（福井大学医学部附属病院）
冨岡小百合（大阪府立中河内救命救急センター）
長谷川正志（佐賀大学医学部附属病院）
松本　幸枝（榊原記念病院）

《交流セッションⅢ（災害看護委員会主催）》 10：10 ～ 11：50

『東日本大震災経験から学ぶ　～救急ナースの災害初期対応経験を語らう～』

座長：鴇田　　猛（医療法人鉄蕉会亀田総合病院救急救命センター）
　　阿久津　功（財団法人温知会会津中央病院看護部）
登　壇　者：　金子　　拓（岩手医科大学附属病院岩手県高度救命救急センター）
　　澁谷多佳子（石巻赤十字病院救命救急センター）
　　後藤えり子（東北大学病院高度救命救急センター）
　　佐々木健一（いわき市立総合磐城共立病院救命救急センター）
　　小林　誠一（財団法人温知会会津中央病院救命救急センター）
　　西　　奈緒（東京医科歯科大学医学部附属病院救命救急センター）

《交流セッションⅥ（日本臨床救急医学会「学校への BLS 教育導入検討委員会」主催）》 13：10 ～ 14：40

『学校への BLS 教育導入について』

座長：石見　　拓（京都大学）
講師：学校への BLS 教育導入についてのコンセンサス 2010
　　田中　秀治（国士舘大学院救急システム研究科）
特別授業：小学生に対する心肺蘇生授業の概要
　　阿野　千里（帝塚山学院）
指導者への指導方法について

●第 6 会場

《交流セッションⅦ》 14：00 ～ 15：00

『BLS 普及のために　～ハンズオンして考えよう！！』

講師：野見山泰子（近畿大学医学部附属病院）
　　藤田　享子（関西医科大学附属滝井病院）
協力：レールダル メディカル ジャパン株式会社

共催セミナー

10 月 21 日（金）

《共催セミナー 1（ランチョンセミナー）》　第 2 会場　12：00 ～ 13：00

『肛門内留置型排便管理チューブ（バード ディグニケア）の重要性 ～感染対策とケア管理～』

救急領域における感染対策

講師：高野八百子（慶應義塾大学病院感染制御センター）

重症集中救急患者に対する便失禁ケアシステムの使用経験：看護の視点から

講師：安彦　　武（東北大学病院高度救命救急センター）

司会：佐々木淳一（慶應義塾大学医学部救急医学教室）

共催：株式会社メディコン

《共催セミナー 2（ランチョンセミナー）》　第 3 会場　12：00 ～ 13：00

『絶対に忘れてはいけない口腔からの感染予防』

口から始まる感染予防　ー口腔ケアは誤嚥性肺炎予防の要

講師：米山　武義（米山歯科クリニック、浜松医科大学医学部歯科口腔外科）

災害時に備えて平時から取り組むオーラルマネジメント

講師：岸本　裕充（兵庫医科大学歯科口腔外科学講座）

司会：三宅川宗紀（株式会社エピオス口腔感染対策室）

共催：株式会社エピオス

《共催セミナー 3（ランチョンセミナー）》　第 4 会場　12：00 ～ 13：00

『救命救急センターにおける人工呼吸器関連肺炎（VAP）～ 予防・実際・今後の展望 ～』

講師：齋藤　伸行（日本医科大学千葉北総病院救命救急センター）

司会：道又　元裕（杏林大学医学部付属病院）

共催：コヴィディエン ジャパン株式会社

10 月 22 日（土）

《共催セミナー 4（ランチョンセミナー）》　第 2 会場　12：00 ～ 13：00
『避難所ナースの心得　～東日本大震災の経験から～』
講師：土肥　　守（独立行政法人国立病院機構釜石病院）
司会：酒井　明子（福井大学医学部看護学科臨床看護学講座）
共催：株式会社メディカ出版

《共催セミナー 5（ランチョンセミナー）》　第 3 会場　12：00 ～ 13：00
『プレホスピタルケアにおける体温管理の重要性』
講師：山本　保博（東京臨海病院）
司会：刀谷　峰子（大阪府済生会千里病院）
共催：テルモ株式会社

《共催セミナー 6（ランチョンセミナー）》　第 4 会場　12：00 ～ 13：00
『初療から考える救急領域の積極的リハビリ･アプローチ ―理学療法士と看護師の立場から―』
講師：神津　　玲（長崎大学病院リハビリテーション部）
司会：藤野　智子（聖マリアンナ医科大学病院看護部）
共催：パラマウントベッド株式会社

《共催セミナー 7（ランチョンセミナー）》　第 6 会場　12：00 ～ 13：00
『米国の電話トリアージナースが果たす社会的機能　～その現状と民間の役割、日本のこれからを予測する～』
講師：北川　明人（東京海上日動メディカルサービス株式会社健康プロモーション事業部
　　メディカルコール事業室）
　　濱　　精孝（東京海上日動メディカルサービス株式会社健康プロモーション事業部）
司会：太田　祥一（東京医科大学救急医学講座）
共催：東京海上日動メディカルサービス株式会社